

医療トピックス いま、世界の移植は？(3)

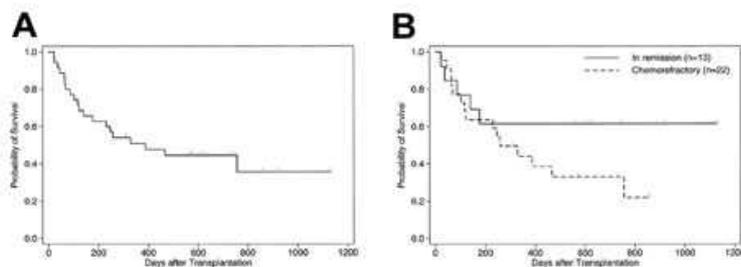
東区・郡元支部
(医療法人 幸良会 シーピーシークリニック) 武元 良整

【12月は骨髄移植推進月間】

毎年、12月は骨髄バンク登録者数30万人をめざして登録推進のための催しが多く行われています。骨髄移植推進運動の盛んな名古屋では移植推進キャンペーンミュージカル『明日への扉』が公演されます。1994年2月以来70回目となり、これまでも収益金は全額を財団法人・骨髄移植推進財団などに寄付されています。移植を受けた人は2004年11月で6,000例に到達しました。バンクへのドナー登録者は現在、20万人、30万人のドナー登録があれば、移植を希望すればだれにでもドナーが見つかるかと予測されています。HLA (Human leukocyte antigen) の型が一致すれば移植出来るというのが造血細胞移植の常識です。ところが、この常識をくつがえす報告が今月、日本から世界へ発信されました。

1. HLA mismatch移植

鹿市医報の平成15年9月号『移植のなぜ(5)HLA一致ドナーが必要?』通巻499号、25ページに紹介したようにHLA mismatchドナーからの造血細胞移植は日本が世界をリードする領域です。その理論は母親からの組織抗原がお互いに存在するから移植できる(NIMAs; noninherited maternal antigens) というものです。進行期血液悪性疾患35例への移植成績が今月号の血液専門雑誌『Blood』に掲載されました(文献1)。移植の適応基準を紹介します。まず、1. 進行期の白血病または悪性リンパ腫。2. 母子間、子母間そして兄弟間移植。つまり、ドナーは母親を共有する事。3. 免疫抑制剤はタクロリムスを使用する。以上の3項目です。気になる移植後のGVHD (Graft versus host disease) は56%にみられました。重症GVHDは22%。35例の3年での生存率は38%です。移植後day 30に寛解生存確認できた29例に限ると3年EFS (Event Free Survival, 再発無くいかなる原因の死亡もない生存率) は47%。平均観察期間が20ヵ月で14例が無病にて生存ですからかなりの期待が持てます。さらに、進行期といえども移植時に寛解であれば62%という高い生存率が期待出来ます(図1)。現在、伸び悩むバンクドナー数を補い、かつ家族で助けあえる有用な選択肢の一つと考えられます。



全生存率 移植時の寛解13例と化学療法不応性22例との比較

図1

2. さい帯血移植

今、国内でのさい帯血移植総数は5年間で1,940例を越えました。最近の1年間で約800例という急速な普及です(明日に向かって - 日本さい帯血バンクネットワーク5年の歩み, 2004年10月刊行)。その理由はさい帯血を小児だけでなく、大人も利用出来るからです。全体の75%近くが大人に利用されるようになりました。さい帯血移植はHLA mismatchの場合がほとんどです。その多数例の治療成績が東京大学から報告されました(文献2)。図2にその生存率を示します。さい帯血移植45例とバンクからのドナーによる骨髄移植68例の比較成績です。図2のCで明らか

に2年での予測生存率はさい帯血移植が74%、骨髄移植は44%と統計学的に有意差が認められています。さらに、移植関連死亡(TRM)も9%で(図2のA)さい帯血移植の安全性が明らかにされました。

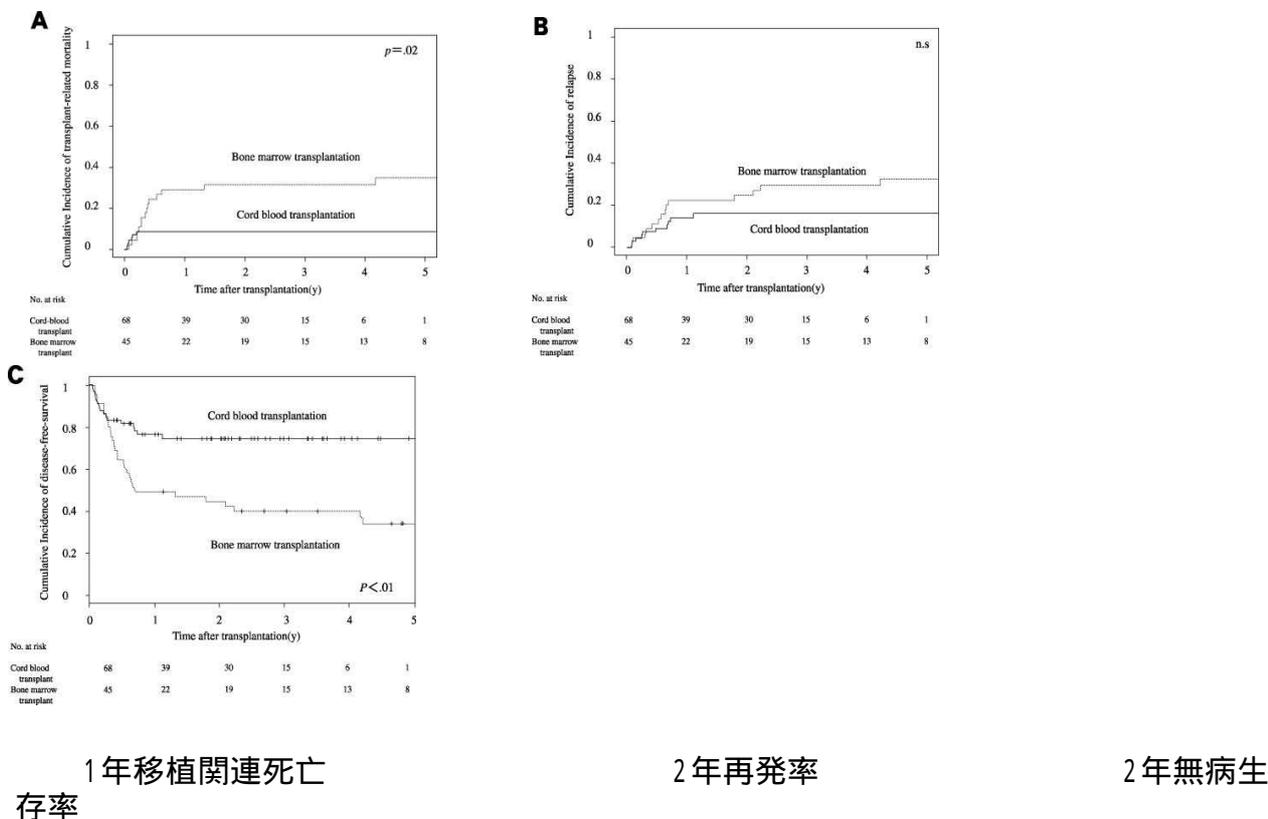


図2

移植医療の拡大する可能性

今回は日本から、革新的な報告を紹介しました。しかも12月号の同じ雑誌に2編掲載されたという事に私も驚きました。移植の最大の難関はドナー不足です。この2つの報告は新しい可能性を示し、希望の光明を見いだすものです。難病と言われていた血液疾患に対する日本からの貢献、治療の進歩に来年も期待したいと思います。

御質問は次まで

E-mail : takemoto@cpc-jp.com

文献

1. Ichinohe T et al. Feasibility of HLA-haploidentical hematopoietic stem cell transplantation between noninherited maternal antigen (NIMA) -mismatched family members linked with long-term fetomaternal microchimerism. Blood 2004; 104: 3821-3828.
2. Takahashi S et al. Single-institute comparative analysis of unrelated bone marrow transplantation and cord blood transplantation for adult patients with hematologic malignancies. Blood. 2004; 104: 3813-3820.